

## ■成績評価の実施方法

成績は、試験（前期末、後期末）、平常成績（課題作品、実技の評価）、授業態度（授業課題提出状況など）を加味した、総合的な評価として、適正な評価に努めています。各教科の成績評価は、その方法と基準をシラバスで明示し、その記載された割合で合計、点数化し、0から100点とする以下の4段階評価としています。

100～85点=A、84～65点=B、64～50点=C、49～0点=D

\*Dは不認定となり単位を取得できません

各教科の通年の成績評価を総合し、個人の総合評価を算出しています。算出方法は各教科の成績評価をA=5点、B=3点、C=1点、D=0点とし、それらを合算し、受講した教科の総数で割って平均値を出します。平均値の値が4.0を超えるとA、2.0を超えるとB、2.0以下をCとし、総合評価としています。また、年間の取得単位数が本校の定める単位数に満たない場合は総合評価Dとなり、修了が認められず、進級、卒業が不可となります。各教科の一年または半期ごとの成績、各教科の出席時数、通年の出席時数、総合評価が、授業科目成績通知書ならびに成績証明書に記載されます。

## ■卒業認定に関する方針

卒業認定及び前段階としての修了認定については以下のように行っています。

### <修了認定>

各学年の修了認定については、規定の出席時数を満たし、試験等の成績評価により所定の単位数を超えた単位を取得していること、学費が完納されていることを原則とします。各学年の修了時、1年間（1年次から2年次への進級、2年次から3年次への進級）で取得すべき単位数が不足した学生については認定会議で最終検討を行い、進級に問題の残る学生は必要に応じて保護者の方に来校していただき三者懇談を行います。

### <卒業認定>

卒業試験は実施せず、各学年の修了を卒業の条件とします。卒業資格条件の査定は、教職員による認定会議により行われ、卒業資格条件を満たした者には卒業資格を認定します。卒業時には専門士の称号が付与されます。卒業するために必要な単位数は、ファッション造形科とファッション流通科においては60単位以上、ファッションマスター科においては90単位以上となります。